

—— もはや労働トラブルは、対岸の火事では済まされません ——

事例に学ぶ！最近の労働トラブルの傾向と実務対応



開催日：2021年2月24日（水）10:00～17:00

会場：りそな総合研究所 東京本社セミナールーム

講師：野口&パートナーズ・コンサルティング株式会社の野口大氏
代表取締役 弁護士

略歴：

企業法務・人事労務に強い弁護士として全国的に著名であり、労働裁判や労基署調査、団体交渉等を専ら会社側・経営側の立場で数多く手がけている。紛争事案のみならず、現場に入って社員面談等も行った。紛争予防ノウハウを駆使する等、数少ない「人事労務コンサルタント型弁護士」として、北海道から沖縄まで全国の多数の企業のプレーンをつとめている。

〈著書〉「労務管理における労働法上のグレーゾーンとその対応」（日本法令）はベストセラー

◆特色

新型コロナウイルスが、私たちの労働環境に与えた変化は計り知れません。また近年では、残業代の支払請求、問題社員やメンタルヘルス、各種ハラスメント等、労働トラブルの原因は多岐にわたり、増加傾向にあります。

本セミナーでは、経営者や人事労務担当者、管理者に、今、知っておくべき労働法の基本ルールについて学んでいただきます。経営者側の立場で数多くの団体交渉・労働裁判を担当し、実践経験豊富な弁護士が、最近のトラブル事例・判例から、分かりやすく解説します。

◆カリキュラム

※録音・録画はご遠慮下さい。

1. 採用

- (1) 募集と異なる条件で採用する場合
- (2) 面接時に聞いてはならない質問

2. テレワーク

- (1) 労働時間管理の方法
- (2) テレワークを成功させるコツ
- (3) テレワークの規定例

3. パワハラ

- (1) 注意指導とパワハラの区別
- (2) なんでも「パワハラだ」と文句を言う社員への対処方法

4. セクハラ

- (1) 同じ言動でもセクハラとなることもあれば、ならないこともある
- (2) 相談担当者の不用意な発言が危ない
- (3) 「嫌と言われたことがない」「ウチの職場は大丈夫」が一番危ない

5. 労働時間

- (1) 労基法改正内容は押さえているか
- (2) 健康問題をどう扱うか？

- (3) タイムカード通り払っていてもサービス残業となることがある
- (4) 朝礼も労働時間？
- (5) 労働時間短縮のコツ

6. メンタルヘルス

- (1) うつ病の部下がいる場合の対処法

7. 問題社員の対応

- (1) 日頃の注意指導がポイント
- (2) 単に注意指導書面を出せばよいというものではない

8. 契約社員・パート・アルバイト

- (1) 雇止めのトラブルが多い
- (2) 無期転換とは
- (3) 同一労働同一賃金とは

9. 定年後再雇用

- (1) 仕事内容が定年前後同一で賃金を下げることはできるか
- (2) 定年前後で仕事内容や勤務時間を自由に変えることはできるか

受講料 会員…24,200円 一般…31,900円 *参加者1名様、消費税等・テキスト代を含む

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。

一般の方：受講票とともにご請求書をお送りいたします（原則）。セミナー開催前日までに振込みください。

*キャンセルはセミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料全額をいただきます。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響、または、諸般の事情により、開催を中止させていただく場合がございます。

りそな総研ビジネスセミナー F A Xお申込み廃止のお知らせ

お客様の個人情報保護とペーパーレス化のために、F A Xによるお申込みを廃止しました。

お手数料をおかけいたしますが、弊社HPからのお申込みをお願いいたします。

1. セミナー申込URL <https://www.rrl.co.jp/seminar>

りそな総研セミナー

検索

2. 会員の方は、会員番号・パスワードをご入力いただくとスムーズです。

3. お申込み方法・会員番号・パスワード等、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：りそな総合研究所 研修セミナー部（東京） 03-5653-3951